

令和5年度体験活動普及啓発事業  
「ファミリーキャンプ～能登の自然を楽しもう～」

1 趣旨

親子で能登の海に親しみながらヨットの基礎知識や操舵を体験する。活動を通して、環境活動への関心を高める機会になることを期待する。また、施設の活動プログラムも体験することで自然への興味・関心を高め、自然体験活動の楽しさを感じる。

2 日程

- (1) 期 日 令和5年7月22日(土)～23日(日) 1泊2日  
 (2) 参加者 小学3年生以上の児童を含む親子 11家族31名  
 (3) 活動内容

7月22日(土) 【館内泊】	7月23日(日)
8:15 受付・移動	6:00 起床・清掃
9:15 はじまりの会(滝港マリーナ)	7:00 フレッシュタイム
9:30 Aグループ:ヨット体験 Bグループ:水遊び・砂像作り	7:30 朝食 食堂
12:15 昼食 弁当	9:10 野外炊事(ガパオライス)
13:15 Aグループ:水遊び・砂像作り Bグループ:ヨット体験	13:00 おわりの会・思い出タイム
16:20 帰所・入浴	13:30 解散
17:40 夕食 食堂	
19:30 焚火タイム	
20:30 自由時間・就寝	

3 成果と課題

(1) アンケート結果からの成果(おわりの会前に家族毎に記載)

- ① 事業の満足度は、11家族中10家族が「とても楽しかった」、1家族が「まあまあ楽しかった」という評価であった。事業全体を通して高い評価を得ることができた。
- ② 保護者が、キャンプ中に見えた子供の変化についての項目では、「自分からお手伝いをしてくれて、積極的に参加していた」「自分からいろんなことにチャレンジしていて、頼もしく見えた」という意見があった。特に「お手伝いをしてくれた」という回答が多くあったため、今後の家庭生活における子供の変容が期待できる。
- ③ 保護者がキャンプで感じたことの項目では、「自然の中での体験を通して、自分自身を成長させるいい機会になった。親として『あれダメ、これダメ』ではなく、やらせて失敗しても見守って、自信をつけさせることが大切だと感じた」という声があった。日常から離れた生活をする事で、改めて見えてくる事があり、今後の子供への接し方等に対して変化が期待できる。

(2) 事業を通しての成果と課題

- ① イベント募集の広報としては、施設ホームページやSNSでの発信、近隣公共施設へのポスター掲示を実施するなどして呼び掛けた。その結果、予定募集数に達する応募があったため、今後も同様の募集方法が有効である(応募の8割は施設ホームページ、2割は年度初めに配布している地元向け冊子)。近隣施設へのチラシ印刷・郵送代の削減につながった。
- ② 家族が対象であるため、活動プログラムに余裕をもったプログラムの立案ができた。その結果、時間に追われることなく、スムーズに運営することができた。
- ③ 夏季の事業実施となるため、暑さ対策は毎年の課題となる。大塚製薬株式会社より協力をいただき、飲料や氷のゼリーを参加者に配布することができた。今後も様々な状況を予測して、熱中症への準備・対策を講じていく必要がある。

